



BOOMERANG

■はじめに

ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の運営を財政支援を目的に、川崎地区の有志により設立されました。

この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広くご紹介する目的で創刊したものです。

■ご挨拶

会長 木村 耕三



平素は日本ボーイスカウト川崎地区賛助会にご理解とご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。会報の発刊に当たり一言ご挨拶申し上げます。

当賛助会は1984年（昭和59年）に設立されました。

設立のいきさつが「ボーイスカウト川崎地区創立50周年記念誌」に詳述されています。

それによりますと当時の古尾谷協議会長、近江地区委員長、伊奈財政委員長が中心になり設立されました。当時の地区の財政基盤は脆弱で有志の寄付金を当てにした予算編成を

行っていたとの記述があります。また将来少子化が予想されることもあり、将来にわたり地区協議会に応援できる組織が必要との認識から川崎地区賛助会が設立されたとあります。

設立と同時に制定された「会則」に「本会は川崎市内のボーイスカウト運動を助成するため、ボーイスカウト川崎地区協議会に対し財政賛助することを目的とする」が定められました。

具体的には地区の財政委員会と共催でダンスパーティ、ゴルフ、ニューイヤーパーティでのオークション等々を行うと同時に、組織の内外から個人会員、法人会員、団体会員、準会員など多くの方々のご賛同を頂き川崎地区に30数年間にわたり毎年賛助できていることができておりますことは皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

このたび会報「BOOMERANG」（ブーメラン）を発刊することになりました。

これまで多くの方々にご賛助頂きながらも、賛助会の詳細な活動報告が必しも会員の皆様にお届け出来ていないのではとの思いからこの1年間発刊の準備を進めて参りました。

会報BOOMERANGは「ボーイスカウト活動により青少年が立派に巣立つことを願い、そして彼らが立派な社会人として戻ってきてくれることを願っています。」こんな気持ちで命名されました。

子供たちを指導・教育するのは川崎地区協議会の役員、各団の指導者の方々であることは申すまでもありません。川崎地区賛助会はその活動を下支えする資金賛助を行う事が役割であります。

発刊にあたり会則をひも解いて再確認したところ川崎地区協議会と川崎地区賛助会が一致協力して、将来の日本を支える若者ため骨身を惜しまず奉仕することが肝要であるとの思いを新たにしております。

現在の青少年はニーズが多岐にわたりまた刻々と変化しています。ボーイスカウト運動は、青少年のニーズを汲取った活動を行い「進歩制度」「班制度」「野外活動」及び「ちかい」と「おきて」の基本を守りつつ、青少年を「立派な社会人」に育て上げることが役割です。

皆様方のおかれましては、本主旨をご理解いただき明日の日本を担う青少年に対してこれからも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げますと同時に、お知り合いの方にもお誘い頂ければ幸いです。最後になりますが皆様方のご健勝と益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

■会報「BOOMERANG」の発刊に寄せて

日本ボーイスカウト川崎地区
地区委員長 境 紳隆

賛助会の皆様には、日頃より地区の活動に多大なご支援を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。またこのたびは、会報「BOOMERANG」の発刊、まことにおめでとうございます。歴史ある川崎地区賛助会の活動を、会員の皆様をはじめ多くの方々に広くお報せする有効なツールになるものと、楽しみにしております。

賛助会の活動は、ニューイヤーパーティー等の他には日頃余り目に触れる機会が無いのですが、実は、川崎地区のプログラムの多くは賛助会のご支援に基づいて運営されています。ボルチモアとのスカウト交流を30年に亘って続けて来られたのも、日本ジャンボリーや世界ジャンボリーに多くのスカウトや指導者が参加してこられたのも、地区ラリー・白梅隊・ゴールデンアックス隊、或はボーイスカウト講習会等が長年安定して実施して来られたのも、その陰に賛助会のご支援があったからこそと言えましょう。

何えば、賛助会を巡る環境もなかなか厳しいものがあるとのこと。本会報がきっかけとなり、ひとりでも多くの方が賛助会に参加されることを祈念申し上げます、お祝いの挨拶とさせていただきます。

■賛助会のあゆみ（第一回）



賛助会 副会長
近江 廣之

時代によって必要に迫られ、賛助会が生まれました。その背景を少しお話しします。

私は1979年（昭和54年）から4年間、地区副委員長として奉仕しました。その間に気づいた事項を次の5年間で企画・実行に移していきました。

当時、スカウト人口は増えておりました（1983年当時で2132名）。しかし、地区の財政は逼迫しており予算編成をするのに苦慮しておりました。そこで地区財政の立て直しを地区に提案しました。

一番目として、当時、川崎地区の個人登録費は100円/年でしたが、県内の他地区では500円が中心でした。そこで、川崎地区の目標を第一段階で300円（1984年より）、第二段階で500円（1988年より）に値上げすることを提案し実施していきました。

二番目として地区登録費のみに頼るのではなく、新しい試みとして「賛助会」を発足することにより、

地区の財政を支援する構想を打ち出しました。当面は登録費の値上げにより、地区財政は安定してゆくことが可能になります。その登録費で運営が難しくなるまでの間に、賛助会の運営を大きくし賛助金を貯蓄するという計画をいろいろな方々と話し合いました。

一方で、当時の古尾谷協議会長や伊奈財政委員長と具体化に向けて何回も話し合いを持ち、この構想を進めるための意見と励ましをいただきました。

この結果、1984年（昭和59年）4月に地区委員会にて私は「賛助会」の設立を發議し、5月から設立準備委員会として財政委員会を中心にメンバーを組み、伊奈さんを委員長にして、名称・位置づけ・目的・組織などを検討後、会則を作成しました。

この時のメンバーは12名の委員、相談役・役員8名でした。11月から予備活動に入るために、暫定的に必要な委員会を作り活動を行い、同時に古尾谷協議会長名で会員募集を始めました。

緊張した時間もありましたが、充実した時でもあり、同時に先輩方の力を見ながら1985年（昭和60年）7月7日に設立総会を開催し、正式に「日本ボーイスカウト川崎地区賛助会」が発足いたしました。設立時の会員は個人66名、9団体、2法人となり、これから先が明るく見えたものでした。



（次回へ続く）

■2015年度 賛助事業実施報告

2015年度は66万円を下記事業に賛助いたしました。

1. 30周年記念 第24回
Baltimore-川崎市スカウト交流派遣事業
2. Baltimore-川崎市 スカウト交流30周年記念誌
3. ビーバー祭り
4. 地区ラリー
5. ゴールデン・アックス・トレーニング・コース
6. 指導者講習会

◆第24回 ボルチモア - 川崎市スカウト交流報告
川崎地区国際委員会
委員長 長谷川 博之

姉妹都市スカウト交流 30 周年事業の最終年として、2015 年 7 月 24 日～8 月 7 日にかけて木村派遣団長ならびに西角派遣隊長をはじめとする合計 14 名の派遣団がボルチモア市を訪問しました。歓迎パーティ、市長表敬訪問、Broad Creek キャンプ場での一週間の合同キャンプ、そして一週間のホームステイをとおしてのホストファミリーとの生活はとても有意義な体験になりました。今回の事業に対し賛助会のご支援に心から感謝申し上げます。

なお、2016 年 7 月 24 日には第 25 回派遣隊が川崎訪れ、川崎地区の皆さんと交流を深めることになっています。相変わらず皆様のご協力をお願い申し上げます。



■2016 年 ニューイヤーパーティの報告

1 月 23 日(土)川崎市自治会館 1 階大ホールにてボーイスカウト川崎地区のニューイヤーパーティーが行政ならびに育成連盟の皆様をお迎えし盛大に開催されました。

会場では、川崎地区 11 個団の元気な指導者、関係者が集まり近況報告をされていました。活動の内容について指導者や、関係者のご努力を感じることができました。

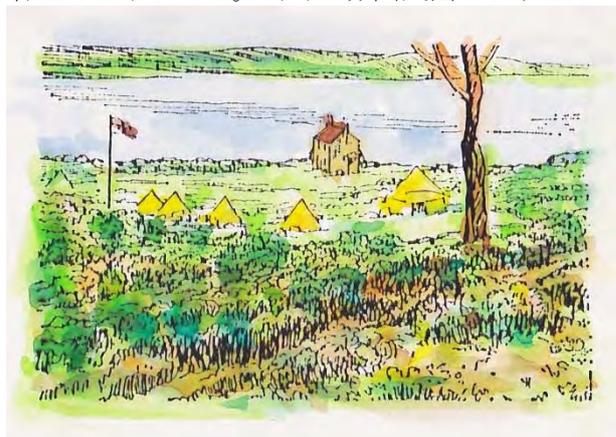
メインイベントとしてとらえているオークションの順番となり、賛助会の役員、関係者のスムーズな司会に始まりました。進行するに従い会場は一段と盛り上りました。

多くの方々の素晴らしい寄付品をオークションにかけていただきました。

皆様のご協力を得まして多大な金額となりました。このオークションの金額は、次年度に於ける川崎地区ボーイスカウト活動に賛助されます。

◆ちょっと一休み

B.P.は絵が上手だったのですね。イラストに少し着色してみました。当時の雰囲気出てますか？



■第 177 回 理事会報告

通常理事会は年 5 回 (6 月・9 月・12 月・1 月・3 月) 開催される。

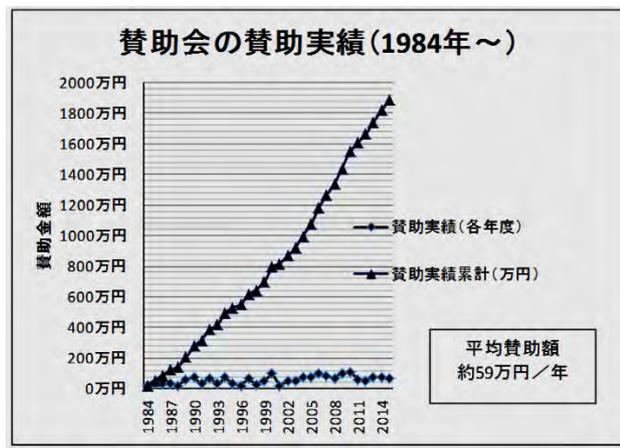
3 月 13 日 (日曜) 13 時より川崎総合自治会館に於いて第 177 回理事会が開催された。

出席者は木村会長・近江副会長他、中原・内田・梅原・仁藤・小山・境・鈴木の各理事 9 名および会計の楠、会計監査の長谷川の合計 11 名で行われた。議長および進行は近江副会長により進められ、木村会長挨拶から始まり以下の議事および報告がなされた。

- ニューイヤーパーティの売上報告
- 平成 26 年度賛助会予算について楠会計から提案された。
- 昨年 12 月に地区協議会より提出された『平成 28 年度地区事業補助のお願い』について審議された。
- 10 年表彰対象者及び記念品について報告。
- 第 1 回会報『ブーメラン』の発行について
会報の発行の件で 2 月 24 日、近江・長谷川・内田・仁藤・鈴木の 5 名で会議を開き、会報の指針ならびに内容案が検討された。本日の理事の承認を得て実行への移行が承認され、記事構成及び記事内容ならびに会報の配布方法 (経費削減を考慮) について審議された。なお、創刊は 4 月とする。
- 平成 28 年 6 月 5 日開催の年次総会の役割分担について決めた。

■30年間の賛助実績推移

当賛助会は設立以来、この30年間に約1800万円の賛助を川崎地区協議会へしてまいりました。当会の賛助実績は以下のグラフに示します。



■賛助会役員のご紹介

顧問	渡邊 宗男
会長	木村 耕三
副会長	近江 廣之
相談役	関口 眞昭
事務局長	佐藤 和代
事務局次長	鈴木 秀明
理事	伊奈 忍
	中原 亨
	内田 治彦
	梅原 英毅
	仁藤 祥仁
	小山 新生
会計	楠 明
	藤岡 栄
会計監査	長谷川 博之
	境 紳隆



●編集後記

「BOOMERANG」…青空に投げれば手元に帰ってきます。青少年が立派に巣立つことを願い、そして彼らが立派な社会人として戻ってきてくれることを願っています。そして、会員の方は心のメリットとして戻ってきます。こんな気持ちで会報の名前が決まりました。(H)

■賛助会員の分布(2016年3月末日現在)

- ・個人会員： 106名
- ・準会員： 22名
- ・団体会員： 24団体

■会員募集

当賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・準育成会員(年会費) 一口 2,000円
- ・個人会員(年会費) 一口 5,000円
- ・団体会員(年会費) 一口 10,000円

なお、個人会員ならびに団体会員には当会の審議事項に関し議決権を有しますが、準会員につきましては議決権はございません。

お問い合わせならびにお申込み、ご意見・ご希望は下記へご連絡ください。

【お問い合わせ】

- ・賛助会事務局(会員担当：鈴木)
- E-mail : h2129@jcom.home.ne.jp

【振込先】

- ・郵便振替 00230-3-036714
(振込料金=本会負担)
- 加入者名：日本ボーイスカウト川崎地区賛助会
- ・横浜銀行登戸支店(普通)口座 NO 256868
(振込料金=本会負担)
- 口座名：日本ボーイスカウト川崎地区賛助会

■会員の声を募集しています

本誌では会員の皆様からの声を随時募集しています。テーマは自由、500字程度 of 原稿を是非お寄せください。

送り先は上記賛助会事務局へお願いいたします。

